

# 看護部教育計画書

H25年3月作成

		対象	教育目標	研修のねらい	研修内容
専門性を高めるための教育	看護実践能力の向上	全員	・基本的な知識・技術を身につけ、入院から退院の継続した看護が提供できる	看護実践者としての基本的な知識、技術を習得する	・フィジカルアセスメント学習会 ・救急時看護研修会
	卒後教育Ⅰ	1年目	前期 ・病棟内の患者が受けている看護の内容が理解できる ・患者急変時に必要な介助ができる ・物品、薬品の保管場所が分かる  後期 ・原則を踏まえた基本的な患者指導ができる ・実践した看護を判断・根拠を基に記録ができる ・看護計画を立て、振り返ることができる ・患者、家族の置かれている状況を捉えることができる ・病態整理を踏まえ、患者の全体像を捉えることができる	自分の看護観や看護を探究する心を育てる	・新人看護職員オリエンテーション 救急時の対応 リフレッシュ研修(新人看護師交流) 多重課題、コスト研修 ・院内ローテーション研修 (病棟・外来・薬局・検査科・放射線科・栄養課)  ・フォローアップ研修 救急時の対応 多重課題、コスト研修 ・プリセプティ研修(3回)
	卒後教育Ⅱ	2年目	・研究メンバーの一員として、看護研究に取り組むことができる ・自分の考えを公表できる ・プリセプティのよき理解者となることができる ・患者、家族への指導を行うことができる ・他部門のスタッフと連携の仕方が分かる ・チーム全体の中で、看護過程が展開できる	同期の絆を深め、ともに成長しつつ課題を知る	・メンバーシップ研修会 ・2年目看護師学習会 (フィジカルアセスメント研修会参加) ・多重課題、コスト研修 ・リフレッシュ研修(2年目看護師交流) ・2年目看護過程研修会
	卒後教育Ⅲ	3年目	・研究的視点を持つことができる ・看護過程を展開し評価ができる ・関連部署や医療福祉介護チームとの連携・共同ができる	メンバーシップの役割が果たせるとともに後輩を指導できるようになる	・メンバーシップ研修会 ・3年目看護過程研修会
	キャリア開発Ⅰ	4～5年目	・プリセプターとして、新人の指導ができる ・研究課題を見つけることができる ・患者、家族への指導のリーダーシップをとることができる ・カンファレンスを通して看護過程の展開ができる	後輩を指導すると同時にリーダーシップを取れるようになる	・プリセプター研修会 ・プリセプターシップ研修会 ・リーダーシップ研修会(業務リーダー) ・キャリアアップ研修会
	キャリア開発Ⅱ	6～9年目	・スタッフ教育においてのリーダーシップをとることができる ・チーム全体のバランス(スタッフの能力・患者重症度など)を考えた上で、優先順位を踏まえた調整ができる ・専門性を確立する	看護実践のリーダーシップが発揮でき自己の課題を明確にして取り組める	・リーダーシップ研修会(チームリーダー) ・他病院研修(関連病院、札医大病院など) ・現任教育(院外) ・認定看護師研修
	キャリア開発Ⅲ	10年目以上	・自分の仕事を探し、改革できる能力を養う ・自らが中心となって活動する意識を持つことができる ・メンバーのチェック、指導ができる ・委員会、研究などでリーダーとしての役割を担うことができる	看護における先輩としての役割を再認識する	・経験10年、20年以上看護師研修 ・ファースト・セカンド看護管理者研修 ・キャリアアップ研修会
	全体教育	看護研究を充実させるための研修 社会の変化に対応できるための研修 リフレッシュのための研修会	全員	X	看護研究の基礎的な取り組み方を身につけ、意欲的に研究ができる  看護職としての適切な役割を果たしていくために、幅広い知識を得る  豊かな感性・柔軟性を育む

	研修会名	開催期間	対象	目的
卒後教育Ⅰ	新人看護職員オリエンテーション 法人組織、病院の概要・各部署紹介 病院・看護部組織と方針、接遇、災害看護 院内感染対策・防火・オーダリングなど 看護倫理・看護部委員会について 記録について・パスについて・看護必要度 実技研修 採血・静脈、皮内、皮下、筋肉注射血糖測定 点滴管理(ミキシング、滴下合わせ) 酸素吸入 経管栄養、食事介助、PEG、導尿、BC留置 オーダリング、移送、体位交換、酸素吸入、 吸引・清拭・更衣、おむつ交換、入浴介助、 洗髪方法、排泄介助・カルテ記載方法 ME機器使用演習 救急時の看護	4月 2週間	新卒看護師	当院の職員として病院・看護部について理解することができる。 看護技術の方法について理解し今後の看護業務に活かすことができる。
	ローテーション研修(病棟・外来研修)	4～5月	新卒看護師	他部署の役割と業務を理解し、看護業務に活かすことができる。
	他部門研修	栄養管理室 :6月 臨床検査科 :6月 診療放射線科:6月 薬剤科 :6月	新卒看護師	他部門の役割と業務を理解し、看護業務に活かすことができる。
	リフレッシュ研修(院外研修)	5月	新卒看護師	院外施設で新人看護職員の研修・施設見学・情報交換を行いチームワークを強めることができる。
	プリセプティ研修会	6月 9月 2月 振り返り	新人看護師	自分の看護観を確立し、看護を探求する心を育てると共に、自分の看護を振り返ることができる。
	多重課題への取り組み研修 (急変時の看護・コスト研修)	9月 1月フォローアップ	新卒看護師	急変時に優先順位を考えた対応ができる。 コスト意識を持つことができる。
実技フォローアップ研修	10月	新卒看護師	習得した看護技術を振り返り今後の看護業務に活かすことができる。	
卒後教育Ⅱ	2年目看護過程研修会	6月	卒後2年目の保・看	看護過程(特にアセスメント)についての理解を深め、臨床の場で展開できる。
	2年目看護過程研修会 <フォローアップ>	12月	前回の看護過程研修参加者	研修後、看護過程(特にアセスメントの充実)の展開ができていないか振り返る。
	2年目看護師学習会 (多重課題・メンバーシップ研修・コスト研修 リフレッシュ研修)	10月	卒後2年目の保・看	2年目看護師としての役割を見出し目標を持ち自己研鑽し看護研究や新人看護師の心理的な支援ができる。
卒後教育Ⅲ	メンバーシップ研修	5月	卒後2年目の保・看	チームの一員としての役割を理解し行動することができる。
	メンバーシップ研修 <フォローアップ>	10月	前回の看護過程研修参加者	研修後、チームの一員としての行動を振り返る。
	3年目看護過程研修	2月	卒後2年目の保・看	看護過程についての理解を深め、臨床展開し評価することができる。

	研修会名	開催期間	対象	目的	
キャリア開発Ⅰ	プリセプター研修会	9月 1月	プリセプター全員	意見交換を行い、プリセプティの立場に立った指導をするために、プリセプターとしてどのように関わるか方向性を見出すことができる。	
	プリセプターシップ研修会	3月	次年度プリセプター	プリセプターシップについて理解し個々の心構えができる。	
	リーダーシップ研修会	6月	卒43～5年目看・保	リーダー業務に求められていることは何かを理解できる。	
	リーダーシップ研修会(フォローアップ)	11月	前回のリーダーシップ研修会参加者	研修後業務リーダーとしての役割が取れているか振り返ることができる。	
キャリア開発Ⅱ	リーダーシップ研修会	7月	卒後6～9年目看・保	後輩を指導すると同時に、リーダーシップがとれる。 また、アセスメントの充実ができるリーダーの役割ができる。	
	リーダーシップ研修会(フォローアップ)	12月	前回のリーダーシップ研修会参加者	研修後、リーダーシップがとれているか振り返ることができる。	
開発Ⅲ	看護師研修会	9月	10年～20年以上のキャリアを持つ看護師	意見交換を通して看護師に求められていることを考え、看護の質の向上につなげることができる。	
看護研究	北社協看護研究発表会	10月	看護職全員		
	院内看護研究発表会	11月	看護職全員	看護研究の成果を発表し、高めあうことができる。	
	看護研究の進め方 基礎 データ作成・パワーポイントの作成など	4月 データー収集のポイント	看護職全員		看護研究とは何かを理解し、研究のプロセスを学ぶことができる。 (研究の進め方～原稿作成およびデータ収集及び分析方法 プレゼン方法のポイントについて)
		6月 原稿のまとめ方 8月 パワーポイントの作成 2月 看護研究とは(研究計画作成)			
その他	言語聴覚士による講演会	5月	看護職全員	言語聴覚士から専門知識を得て、日常業務に活かすことが出来る。 (嚥下・摂食障害患者の食事介助)	
	理学療法士による研修会	6月	看護職全員	理学療法士から専門知識を得て、日常業務に活かすことが出来る。 (体位変換・移乗・移動のポイント)	
	作業療法士による講演会	7月	看護職全員	作業療法士から専門知識を得て、日常業務に活かすことが出来る。 (高次機能について理解できる)	
	救急時の看護	9月	看護職全員	基本的な知識・技術を再確認し、各部所に合わせた急変時の対応ができると共にアセスメント能力の充実を図る。	
	中途採用者研修	6月 10月	前年度10月～3月採用者 4月～9月採用者	当院看護師としての自覚を持ち、経験を生かし働くことができる。	
	中途採用者他部署研修	随時	中途採用者全員	院内の放射線科・薬局・検査科の研修を通し連携の方法を理解し戸惑いを最小限にできる。	
	専門分野看護師講演会	7月 10月 2月	看護職全員	専門分野の知識・技術の向上と看護の役割を学ぶことができる。	
	伝達講習会	9月 2月	看護職全員	院外研修の成果を広く還元することができる。	
	リフレッシュ研修	10月	看護職全員	豊かな感性・柔軟性を育むことができる。	
	ナースギャラリー発行	6月 11月			